

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(5/9)

	評価区分(※)	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
次世代型農業生産構造確立特区 (山口県、光市、柳井市、熊毛郡田布施町)	正	4.0	4.5 <u>進捗度</u> ・中心経営体への農地集積 146% ・再生可能エネルギーの利用促進 167% ・経営の多角化等による新たな雇用の確保 128%	3.5 <u>規制の特例等</u> ・財産処分手続きの簡素化 <u>財政支援等</u> ・土地利用の高度化による農業生産事業等 <u>地域独自の取組</u> ・農業経営体育成支援事業 ・新規就農支援総合対策事業 等	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗では、H25年7月の豪雨災害後の重機や作業員不足の影響があったものの、工事計画を見直すなど、新たな雇用の確保も含め、いずれの指標も目標を達成している。 ・区画整理を支援する農業支援事業、地域エネルギー支援事業について具体的な取り組みについての情報が必要と判断される。 ・ペレットボイラーだけでなく、小型木質バイオマスコジェネレーションの導入や、蓄熱材による太陽熱のパッシブな集熱などと組み合わせることで装置規模をコンパクトにするなど、自然エネルギーのさらなる効率利用へ向けた取り組みが期待される。 ・今後は、最終的な目標として挙げた土地利用率の向上、農業所得の増大がどの程度進んでいるのか、それらへの諸事業の効果がどの程度認められるかについて、検討を進められたい。

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。